

でスライドを使い、わかりやすく普及講演する。

- 10・1～2 日本地質学会東北支部総会（於、山形大）におけるシンポで、「高郷海牛について」を、同性同名の渡部正両会員（喜高・高郷公民館）がカップルで発表する。印刷ミスかと思った参加者も2人を見て、にんまり了解する。



日本地質学会東北支部総会（山形大）で「高郷海牛」を発表する渡部（公民館）さん

- 10・4 単独で巡検していた渡部（公民館）が、羽黒沢下流付近でサメの歯の歯を礫岩層から発見発掘する。その他、肋骨も確認する。
- 10・14 会津地区高校（地学）教員研修会の巡検を行い、海牛の頭骨の発見と同じように、いつも現場への往来に降りている橋脚の真下で肋骨を発見する。参加者10名。
- 10・22 14日確認の脊椎骨、肋骨を発掘する。参加者7名。
- 10・31 22日に続いて未発掘の脊椎骨・肋骨を礫岩の中より、石屋さん（2人）の手を借りて発掘する。参加者5名。
- 12・2 10月からレプリカづくりをはじめていた林王氏（喜高）のスエモノガイの試作品ができあがり、高郷村郷土資料館へ展示する。会員の間にレプリカづくりへの気運が盛りあがる。
- 12・28 堀川（小千谷西高）を中心に発掘標本の検討会を開き、今後の展示骨格標本も話題になる。参加者5名。